

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市規格葬儀事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部				課	環境政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいをもちながら暮らせるまち											
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性				選択の事業		区分		一般事務事業	
事業期間	2008(H20)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	枚方市規格葬儀に関する要綱													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		低廉で厳粛な葬儀を執り行いたい市民											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		一般的で低廉で厳粛な葬儀を希望しているが、葬祭業者には画一的なその様なメニューがない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	簡素・低廉かつ厳粛な葬儀が葬儀業者間で統一して提供できていて、市民がそれを利用できている。													
事業概要	枚方市が葬儀の仕様や金額を定め、市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を募集し、「枚方市規格葬儀取扱店」を増やすことで、市の規格どおりの葬儀を希望する市民が利用しやすい環境を整える。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	簡素・低廉かつ厳粛な葬儀を市民が利用できる。				必要な市民が規格葬儀を利用する。				市域全域で規格葬儀を受けられるよう取扱店を増やす。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		規格葬儀利用者満足度 【算出式:アンケートにより満足またはどちらかといえば満足と回答した人/アンケート回答数×100】				規格葬儀実施件数(標準葬+略式葬)				規格葬儀取扱店数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		85	90	90	90	175	180	185	190	12	12	12	12
	実績		100	100			174	193			12	15		
	達成度		111%				107%				125%			
分析		利用した各規格葬儀取扱店で満足度が高く、統一的な対応ができています。				規格葬儀取扱店が増えたこともあり、規格葬儀実施件数は前年度から増加しており、今後も一定の利用者があると見込まれる。				葬儀に関する若年層の意識の変化等などから、より簡素な葬儀の需要が見込まれる。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.28
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,089	3,509	157		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	641		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,089	3,509	798		
	物件費計	42	1	72	129	56%
	歳出計	4,131	3,510	870		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	4,131	1	72	129	

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については概ね想定通りであった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
----	------

今後の取組方針 市営葬儀に代わる簡素、低廉かつ厳粛な葬儀メニューが求められていることから、今後も取り組みを継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市立やすらぎの杜施設維持管理事業										
測定年度	2021 (R3) 年度				部	環境部			課	環境政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	内部事務			区分	一般内部管理事務			
事業期間	2008 (H20)			年度	~	年度まで					
根拠法令等	枚方市立火葬場条例施行規則										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		枚方市営の火葬場で火葬を希望する人								
	サブターゲット		火葬場の近隣住民								
	ターゲットが抱える課題		できるだけ安価で利用できる衛生的かつ厳粛、心が安らぐ火葬を希望している。								
	ターゲットが抱える課題		近隣の環境へ悪影響を及ぼす可能性がある。								
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	火葬場を適正に運営し、全ての利用者が常時、快適に利用できている。また、近隣の環境に配慮ができている。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携し、適切に火葬場の運営を行う。 死亡された市民等を火葬する施設として、火葬中の設備機器トラブルの発生や地域環境を害する運転等を起こさないために、定期補修工事等を実施し、適切な施設の維持・管理を行う。 毎年度、排ガス測定を実施し、排出に関する目標値を達成しているか確認を行う。 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						枚方市立やすらぎの杜を予定通り稼働する。				枚方市立やすらぎの杜が計画的に維持管理されている。				
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					やすらぎの杜稼働率 【年間稼働日数/年間稼働予定日×100】				修繕料、維持補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				
	単位					単位				%				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						100	100	100	100	100以内	100以内	100以内	100以内
達成度						100%				88%				
分析						予定通り稼働できた。				計画外の大規模な修繕工事がなく、適正に維持管理することができた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.96
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,333	7,337	7,543		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,530	7,337	7,543		
	物件費計	189,160	194,078	188,975	194,818	97%
	歳出計	195,690	201,415	196,518		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	201,114	157,443	202,296	
	市債	0	0	0	0	
	その他	171,119	12	15	13	
	歳入計	171,119	201,126	157,458	202,309	
	一般財源	24,571	▲ 7,048	31,517	▲ 7,491	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、概ね想定通りであった。また、人員については、新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬に係る対応や感染拡大防止対応等のため、例年より多くの人員を配置することとなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	火葬場を適正に運営できるよう、計画的な設備等の更新を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	鳥獣捕獲許可関連事務										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		23.豊かな自然環境を大切にするまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的の事業	区分	非選択的の事務事業
事業期間	1998 (H10) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
関係補助金名称	サンセット				
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	野生鳥獣(有害鳥獣や特定外来生物など)により住居侵入や農作物食害・糞害などの被害を受けている市民及び事業者			
	サブターゲット	野生鳥獣の住居侵入や農作物食害、糞害などを被っているが、野生鳥獣保護の観点から自由に捕獲等ができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	野生鳥獣の捕獲等により、野生鳥獣(特定外来生物や有害鳥獣など)による被害がなくなる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣等の相談に関する事務 有害鳥獣捕獲等の許可及び捕獲器の貸出業務 特定外来生物であるアライグマについて、捕獲器の貸出及び捕獲個体の運搬について、業者に委託して実施。 鳥獣飼養登録等事務 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	各種相談等に応じ、鳥獣捕獲許可をすることにより、被害が減少する。				インプット(活動)	野生鳥獣等の被害を受けている市民及び事業者から捕獲許可申請等を受け付ける。			
	指標説明	単位				指標説明	捕獲頭数(イタチ・ハト・カラス等)				指標説明	鳥獣捕獲許可申請件数			
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				指標種類	減少することが良いとされる指標				指標種類	減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					650	554	537	519	250	90	70	50		
	実績					646	644			125	155				
	達成度					84%				28%					
分析					鳥獣捕獲許可申請件数の増加に伴い、捕獲頭数も増加したものと考えられる。				原因は野生鳥獣による被害であり、野生鳥獣の増加等の要因は判断することは困難である。しかし、要因の1つとして、近年増加している商業施設や高齢者世帯において、その特性上、被害防除対策の完全な実施が困難な場合があり、被害発生後に事業者等に捕獲を委託することが増えていると推測される。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	特定外来生物(アライグマ)の防除により、健全な生態系が守られる				インプット(活動)	アライグマの被害の相談があった市民等に対し、捕獲器を貸し出す			
指標設定②	指標説明	単位				指標説明	アライグマ捕獲頭数				指標説明	アライグマ捕獲器設置依頼件数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				指標種類	減少することが良いとされる指標				指標種類	減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					-	76	78	81	-	140	145	150		
	実績					90	137			107	182				
達成度					20%				70%						
分析					現状、アライグマの捕獲頭数が増加しており、大阪府下においても分布域が拡大していることから相当数の生息が予想される。よって、長期的には完全排除を達成する必要があるものの、短期的には、捕獲圧を高めることによって、個体数の増加や分布拡大の阻止に取り組む必要があると考えている。				最終的には減少することが望ましいものの、未だアライグマの捕獲頭数が増加している現状においては、捕獲圧を一定以上に保つためにも捕獲器の設置件数が多くなることはやむを得ないものと考えている。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,393	5,760	5,107		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	229		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,393	5,760	5,336		
	物件費計	2,683	2,732	4,095	3,947	104%
	歳出計	8,076	8,492	9,431		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	407	377	457	341	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	3	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	407	377	457	344	
	一般財源	7,669	2,355	3,638	3,603	

5. 総括的分析

総括的分析 目指すべき姿としては、生物の多様性の確保であるため、市民には野生鳥獣を捕獲することよりも、被害が発生しないような適切な被害防除対策に取り組んでいただくことが望ましい。その一方でシカ・イノシシについては個体数管理の目的で捕獲することもあり、この限りではない。また、アライグマについては、短期的には個体数増加の阻止を図る必要があり、現時点では増加はやむを得ない。これらのことを踏まえ、各目標については単に減少すれば良いというものではないことを考慮しながら、その状況に応じて、適切に対応していく必要がある。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も被害防除対策を前提とした取り組みを適切に進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	自然保護啓発事業												
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部				課	環境政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標			23.豊かな自然環境を大切にするまち									
	実行計画名			23-1.里山の保全									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	1998(H10)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	自然環境保全部											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		普段自然とふれあう機会が少ない市民									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		自然とふれあう機会が少ない									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	自然とふれあう、また、自然環境について考える機会を通して、自然環境保全の意識が醸成されている状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の自然環境を身近に感じてもらうため、天野川や山田池公園などで、魚や昆虫、植物などの自然観察会等を開催。 自然環境を考える講演会を開催。 H29年度からH30年度にかけて、第6回自然環境調査(補完調査)を実施。(主な調査地域は、山田池公園、船橋川、穂谷川、天野川) 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	市民一人ひとりの自然環境の意識が醸成されている。	各種イベントに参加した市民が、自然とふれあう、自然環境について考える機会となる。				自然保護に関する各種啓発イベント等を開催し、自然環境について考える機会となる。							
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	観察会等参加者のうち、自然を大切にしようと思った人の割合【算出式:アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人/アンケート回答数×100】				自然観察会等参加者数				自然観察会等開催回数				
	単位: %				単位: 人				単位: 回				
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	85	88	90	91	265	275	285	295	6	6	6	6
達成度	106%				71%				100%				
分析	自然観察会に参加する方は元々、自然環境保全意識が高い傾向にあるが、初めての参加者も含めると高い達成度となった。				コロナ禍においても自然観察会と講演会を開催するための工夫として、募集定員を削減したため参加者数は目標値に届かなかった。				コロナ禍においても、できる限りの感染防止対策と工夫のもと自然観察会と自然環境を考える講演会を実施することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,990	1,396	2,043		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	26	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,016	1,396	2,043		
	物件費計	133	75	201	259	78%
	歳出計	2,149	1,471	2,244		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	2,149	75	201	259	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の不安や心配があるなかでも、定員数を減らすなどの工夫や体温チェックや手指消毒など感染防止対策の徹底をすることで、観察会と講演会を実施する事ができたことは、今後も新型コロナウイルス感染症がいつまで続くかわからない中でも事業が実施できる実績となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も市民が身近な自然と触れ合い自然環境について考える機会を通して、環境保全意識を高めるために取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水道事業会計補助事業												
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部				課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		庶務的事務		区分		庶務的内部管理事務			
事業期間	2004(H16)年度				年度	～		年度まで				
根拠法令等	地方公営企業法、枚方市補助金等交付規則											
関係補助金名称								サンセット				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		枚方市上下水道局上下水道経営部									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化及び水道料金の抑制を図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市水道事業の健全化と水道料金の抑制が図られている状態。											
事業概要	<p>一般会計から水道事業会計へ補助金・負担金を繰り出しすることで、市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化と水道料金の抑制につなげる。</p> <p>1. 水道事業会計への補助金(福祉減免分)</p> <p>2. 水道事業会計への負担金(上水道の水源開発に要する経費(1/3相当額)・児童手当分)</p>											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)														
	実績														
	達成度														
分析															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	401	0	79		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	401	0	79		
	物件費計	116,714	327,787	110,433	110,433	100%	
歳出計		117,115	327,787	110,512			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		117,115	327,787	110,433	110,433		

5. 総括的分析

総括的分析 一般会計から水道事業会計への補助金・負担金の繰り出し事務を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	基準に従い、今後も適正に繰り出し事務を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	エコオフィス推進事務										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、大阪府温暖化の防止等に関する条例、枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市役所を含む市内事業者(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	施策に環境配慮の視点が盛り込めていないものがある。(市民全体にとっては、異常気象など、地球温暖化の進行が課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市役所が率先して、環境保全活動を実施し、市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの削減を図るとともに、市内の事業者が、環境保全活動を推進し、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている。				
事業概要	・「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」や「枚方市エコオフィスに関する取り組み指針」などにに基づき、省エネ・省CO2対策を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						エコオフィスの取り組みにより、市役所の事務事業で消費されるエネルギー使用量が削減される。				市役所の率先行動として、エコオフィスの取り組みを実施する。				
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					エネルギー消費原単位削減率 (H25年度基準)				各部でのエコオフィス取り組み実績の平均点				
	単位					単位				%				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	日標 (見込み)					8.30	8.80	9	10	80点以上	80点以上	80点以上	80点以上	
実績					8.70	2.30			87	85				
達成度					26%				106%					
分析					新型コロナウイルス感染症対策として、換気を行いながら冷暖房を使用したことで、電気・都市ガスの使用量が増加したことが目標未達成の要因と考えられる。				各課でエコオフィスの取り組みが実践され、目標を達成できた。					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.09
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	722	718	707		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	722	718	707		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	722	718	707		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	722	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	エコオフィスの取り組みは継続して実施されているが、新型コロナウイルス感染症対策として、換気を行いながら冷暖房を使用したことで、電気・都市ガスの使用量が増加し、目標は未達成となっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きエネルギー使用量の削減等を図るため、枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)に基づき、適切に管理していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境教育推進事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部				課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち									
	実行計画名		27-1.地球温暖化対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1995(H7)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、枚方市環境教育・環境学習推進指針				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	主に市内の保育所・園、幼稚園、小学校に在籍する園児・児童(対象は全市民)
	サブターゲット	環境教育を受けた園児・児童の家族や関係者
	ターゲットが抱える課題	環境問題について学ぶ機会が少ない。また、環境について学ぶきっかけがない。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。
-----------------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児のための体験型環境学習プログラム」として、市民や市職員が講師となり、市内の保育所・園、幼稚園で環境出前学習を実施。 小学校高学年を対象とした環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行。 子どもたちが夏休みに家庭で排出されるCO2排出量を体感し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心を持ってもらうきっかけとして「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校に配布。 各学校園において、教職員や幼児、児童、生徒などを対象とした市独自の学校版EMSプログラム「S-EMS」を導入し、エコオフィス活動をはじめ環境保全活動を推進。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを意識し、行動する。	出前学習に参加し、保育園児やその保護者の方が環境について触れる機会が増える。	市内の保育所・園、幼稚園に対して環境出前学習の実施・参加を呼びかける。

指標設定	指標説明	出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出式: アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】	環境出前学習参加者数	環境出前学習実施回数																																						
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																						
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> <th>単位</th> <th>人</th> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>4,320</td> <td>4,380</td> <td>4,440</td> <td>4,500</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>1,428</td> <td>2,143</td> <td></td> <td></td> <td>11</td> <td>26</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	単位	人	単位	回	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	80	90	90	90	4,320	4,380	4,440	4,500	46	48	50	52	100	100			1,428	2,143			11	26				
	単位	%	単位	人	単位	回																																				
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5																																		
	80	90	90	90	4,320	4,380	4,440	4,500	46	48	50	52																														
	100	100			1,428	2,143			11	26																																
達成度	111%	49%	54%																																							
分析	少ない開催回数の中で、参加者に対してきめ細かい授業を行うことができた。	新型コロナウイルスの影響により、出前学習の開催回数が想定より少なかった。	新型コロナウイルスの影響により、出前学習の開催回数が想定より少なかった。																																							

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを意識し、行動する。	「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」に取り組む。	「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、参加を呼びかける。

指標設定②	指標説明	出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出式: アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】	エコライフつうしんぼ提出人数	エコライフつうしんぼ申込人数																																						
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																						
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> <th>単位</th> <th>人</th> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>2,150</td> <td>2,190</td> <td>2,230</td> <td>2,280</td> <td>2,750</td> <td>2,770</td> <td>2,790</td> <td>2,810</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>1,267</td> <td>1,590</td> <td></td> <td></td> <td>1,936</td> <td>2,161</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	単位	人	単位	人	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	80	90	90	90	2,150	2,190	2,230	2,280	2,750	2,770	2,790	2,810	100	100			1,267	1,590			1,936	2,161				
	単位	%	単位	人	単位	人																																				
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5																																		
	80	90	90	90	2,150	2,190	2,230	2,280	2,750	2,770	2,790	2,810																														
	100	100			1,267	1,590			1,936	2,161																																
達成度	111%	73%	78%																																							
分析	少ない開催回数の中で、参加者に対してきめ細かい授業を行うことができた。	学校の授業形態の変化による教職員の負担が増加しており、「エコライフつうしんぼ」の参加を辞退する学校が多かった	学校の授業形態の変化による教職員の負担が増加しており、「エコライフつうしんぼ」の参加を辞退する学校が多かった																																							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,752	4,237	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	197	0	229		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,949	4,237	3,372		
	物件費計	889	686	677	1,115	67%
	歳出計	5,838	4,923	4,049		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,838	686	677	1,115	

5. 総括的分析

総括的分析	イベントの開催が困難であるなど新型コロナウイルスの影響が見られたが、限られた回数の中で参加者の満足度の高い取り組みを行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	環境副読本のICT化、出前授業やエコライフつうしんぼへの参加者を増やすなどの取組みを行うことで、子供のころから環境問題に関心をもつ気運の醸成に努めていく

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境保全啓発補助事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち							
	施策目標			27.地球温暖化対策に取り組むまち							
	実行計画名			27-1.地球温暖化対策の推進							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市環境基本条例				
関係補助金名称	環境保全啓発事業補助金			サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。				
事業概要	枚方市環境基本計画の推進のため、市民・市民団体・事業者・行政がパートナーシップを形成し、環境の保全と創造についての取組を積極的に推進するための場となる組織(中間支援組織)として設立されたNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議が実施する事業への支援を通して、市民や事業者等の「COOL CHOICE」推進などの環境保全活動を促進することにより、良好な環境の保全と地球温暖化対策を推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。				アウトプット(活動結果)	エコ宣言を行い、環境保全活動に取り組む。				インプット(活動)	市とNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議との連携により、「COOLCHOICE みんなでエコ宣言」への参加を呼びかける。			
	指標説明	COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)				単位	人				単位	事業			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	2,500	3,000	3,500	4,000	2,175	500	500	500	12	15	15	15		
	実績	1,204	1,427			212	223			13	14				
	達成度	48%				45%				93%					
分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、啓発イベントなどの活動が中止となったため、宣言者数(累計)の伸びは低迷した。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、啓発イベントなどの活動が中止となったため、宣言者数の伸びは低迷した。				環境ネットワーク会議の活動等により、前年度とほぼ同じ啓発活動数となった。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。				アウトプット(活動結果)	中間支援組織として、他団体を支援し、活動の輪を広げる。				インプット(活動)	NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議による、他団体の支援のための相談受付業務について支援を行う。			
	指標説明	COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)				単位	人				単位	件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
指標設定②	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	2,500	3,000	3,500	4,000	-	10	11	12	-	30	33	36		
	実績	1,204	1,427			6	8			13	14				
	達成度	48%				80%				47%					
分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、啓発イベントなどの活動が中止となったため、宣言者数(累計)の伸びは低迷した。				新型コロナウイルス感染症の影響により、支援した件数は想定より少なくなった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、相談件数は想定より少なくなった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.28
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,274	2,243	2,200		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,274	2,243	2,200		
	物件費計	1,255	1,183	1,242		—
	歳出計	3,529	3,426	3,442		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,529	1,183	1,242	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響により予定していたイベントの開催が困難であったが、限られた回数の中で多くの市民に宣言に取り組んでもらうことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	啓発イベントや環境講座参加者への啓発により、より多くの市民に取り組んでもらう。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境基本計画推進事務													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	環境部				課	環境政策課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			27.地球温暖化対策に取り組むまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務				区分	一般内部管理事務				
事業期間	1999 (H11) 年度			年度	~			年度まで				
根拠法令等	枚方市環境基本条例											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称	環境審議会											
事業対象	メインターゲット	市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題。)										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	現年度分の事業計画の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいくことができる状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市環境基本条例第7条の規定に基づき、環境の状況、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための計画として策定した環境基本計画の進行管理を行うため、施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。 ・環境の現況と環境基本計画に基づく施策の実施状況等を掲載した「ひらかたの環境(環境白書)」を発行。 ・市民向けの啓発として主に市の環境保全に関する取り組みを紹介した「ひらかたエコカレンダー」を発行。 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
							事業計画に位置付けた事業が確実に推進される。				環境基本計画事業計画に事業を位置づける。			
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明						事業計画に位置付けた事業の目標達成率【計算式: 目標達成事業数/環境基本計画事業計画に位置付けた事業数】				環境基本計画事業計画に位置づけた事業数			
	指標種類	単位					単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	達成度						80%				100%			
	分析						目標を設定した54事業のうち、目標を達成した事業は39事業となり、目標を達成できなかった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが開催できなかったことが要因の一つと考えられる。				R3年度から第3次環境基本計画に基づく事業計画となるにあたり、位置付ける事業の整理を行なったため、事業数が減少している。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	19.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,144	9,030	5,107		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	779	0	458		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	1,064		
	人件費計	11,923	9,030	6,629		
	物件費計	4,372	363	116	356	33%
	歳出計	16,295	9,393	6,745		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	16,295	363	116	356	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は第3次環境基本計画に基づく事業計画となるにあたり、位置付ける事業の整理を行なった。 また、制度運用や施設の維持管理など、定例的な取り組みについては、「実績管理事業」として、目標を設定せず、事業実績のみの進行管理を行うこととした。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き第3次環境基本計画に基づく各施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地球温暖化防止対策事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部				課	環境政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	○	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち											
	実行計画名		27-1.地球温暖化対策の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、異常気象など、地球温暖化の進行が課題。)
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)
 現年度分の事業計画のうち、枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に係るもの等の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている状態。

事業概要
 ・「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施する。
 ・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき設置した「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、事業者と行政が連携し、市域における地球温暖化対策を実施する。
 ・暑気対策事業として、緑のカーテンの普及や打ち水などを実施する。
 ・年間を通して、様々な形式の環境イベント・キャンペーンを継続的に実施することにより、より多くの市民に地球温暖化防止を中心とする環境保全意識の普及・啓発を図る。
 ・サブリ村野の「環境情報コーナー」において、地球温暖化対策や省エネなどの環境に関する情報発信、啓発活動を実施する。
 ・枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の計画期間が令和4年度末に満了することから、次期計画を策定する。

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される	事業者と行政が連携して地球温暖化対策に取り組む。	「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、行政と連携する事業者を増やす。

指標設定	指標説明	市域の温室効果ガス排出量(※指標の目標数値は次期計画策定後変わる予定)	地球温暖化対策協議会事業計画に基づき活動した延べ事業所数	会員事業者数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2: 2,478,320 R3: 2,441,874 R4: 2,405,428 R5: 2,357,593	R2: 500 R3: 670 R4: 680 R5: 690	R2: 126 R3: 128 R4: 130 R5: 132
	達成度	109%	107%	105%
	分析	産業部門、民生業務・家庭部門の電力使用量が減少するとともに、電気の排出係数が減少したことにより目標が達成できた。	新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたことにより、各種イベント、各会員の環境に関する取組件数が増加したため、目標が達成できた。	年間を通し、勧誘活動を行ったため、会員数が増加した。
	単位	t-CO2	社	社
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される	各種イベント等を通じて、市民の地球温暖化防止に関して触れる機会が増える。	地球温暖化防止に係る各種イベント等を実施。

指標設定②	指標説明	市域の温室効果ガス排出量(※指標の目標数値は次期計画策定後変わる予定)	各種イベント参加者数	各種イベント開催回数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2: 2,478,320 R3: 2,441,874 R4: 2,405,428 R5: 2,357,593	R2: 1,200 R3: 1,250 R4: 1,350 R5: 1,500	R2: 9 R3: 10 R4: 11 R5: 12
	達成度	109%	114%	100%
	分析	産業部門、民生業務・家庭部門の電力使用量が減少するとともに、電気の排出係数が減少したことにより目標が達成できた。	R3年度は、省エネイベント「環境広場」を実施したため、目標を達成できた。	新型コロナウイルスの影響により、一部開催できない事業があったが、目標を達成できた。
	単位	t-CO2	人	回
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,713	21,297	19,643		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	131	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	24,844	21,297	19,643		
	物件費計	29,477	22,576	27,758	28,809	97%
	歳出計	54,321	43,873	47,401		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	21,055	21,055	21,054	29,577	
	歳入計	21,055	21,055	21,054	29,577	
	一般財源	33,266	1,521	6,704	▲ 768	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、新型コロナウイルスなどの影響を受けた部分もあるものの、指標数値の実績からめざす姿に向けて順調に事業を進めることができている。今後もめざす姿に向けて事業を進めていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民一人ひとりに、環境保全に主体性をもって取り組んでいただくのは、一朝一夕には達成できる目標ではないので、長期的な視点でこれからも事業を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													環境マネジメントシステム推進事業				
測定年度		2021 (R3) 年度				部		環境部				課	環境政策課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち													
		施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち													
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		内部管理				特性		内部事務				区分		一般内部管理事務			
事業期間		2001 (H13) 年度				年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁															
関係補助金名称												サンセット		-			
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		市職員及び市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)													
		サブターゲット															
		ターゲットが抱える課題		市の施策に環境配慮の視点が盛り込めていないものがある。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		環境基本計画の進行管理を行い、市の施策に環境の視点を盛り込むとともに、環境保全施策を推進している。															
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月より、ISO14001の取り組みで得られたノウハウを生かしながら、これまで計画や指針ごとに行っていた管理を集約・一元化した市独自の環境マネジメントシステム「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」の運用を開始し、環境保全活動を推進。 「枚方市低公害車等導入指針」に基づき、公用車の車両保有状況を把握するとともに、低公害車等導入を推進。 「枚方市環境に配慮した物品の購入(グリーン購入)推進指針」に基づき、市役所のグリーン購入を推進。 															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
						H-EMSにより、環境保全活動について、PDCAサイクルが適正に運用されている。				枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)を運用する。							
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
		指標説明				内部環境監査で指摘がない、または指摘を受けて改善された項目数				内部環境監査を実施した項目数							
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4	
		269		256		184		184		269		256		184		184	
実績		253		240						253		240					
達成度						94%				94%							
分析						環境関連施策の目標達成状況等、特に、指摘事項はなかった。なお、R2,3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、内部環境監査は行わず、事務局で確認を行ったため、法的要求事項の確認ができてなかった。				R2,3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、内部環境監査は行わず、事務局で確認を行ったため、法的要求事項の確認ができてなかった。							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,253	5,114	4,714		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	328	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,581	5,114	4,714		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	6,581	5,114	4,714		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,581	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、内部環境監査が行えず、事務局で確認を行ったため、一部項目の確認を行えなかったが、その他項目については特に指摘事項がなく、枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)に基づき、適切に管理されていた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きエネルギー使用量の削減等を図るため、枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)に基づき、適切に管理していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	まち美化啓発事業													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	環境部				課	環境政策課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち										
	実行計画名			28-1.美しい景観形成の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業					
事業期間	1980 (S55) 年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例、枚方市路上喫煙の制限に関する条例											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		公共場所等を利用する市民									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		衛生上・美観上、不快に感じる。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歩きタバコや吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の各駅周辺において、職員による、条例周知のための街頭啓発キャンペーンを実施。 広報、エフエムひらかた等で、条例の規定の周知や、路上喫煙禁止区域の周知等の啓発を実施。 「犬のふん放置禁止」「ポイ捨て禁止」の啓発看板を、希望する個人・自治会・事業者等へ配布。 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	空き缶や吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。				登録団体により清掃活動が実施され、まち美化が進む。				まち美化に取り組む市民や事業者等を支援し、活動の輪を広げる。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	清掃活動により収集されたごみの量				登録団体が実施した清掃活動回数				アダプトプログラム・アドプト・地域清掃・ボランティアサポートプログラム登録団体数				
	単位 袋				単位 回				単位 団体				
	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	28,000	27,000	26,500	26,000	1,310	1,315	1,320	1,325	375	377	379	381
実績	16,288	18,506			1,036	1,160			323	343			
達成度	131%				88%				91%				
分析	地域清掃とアダプトプログラムの活動団体と清掃活動回数の増加により回収されたごみ量が増加した。				地域清掃、アダプトプログラムの活動団体が増加したことにより清掃活動の実施回数が増加した。				自治会等の地域清掃団体への登録増加のほか、企業のCSR活動による環境への配慮として、アダプト団体登録の増加がみられた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.29
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,202	12,620	2,043		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	664		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	11,202	12,620	2,707		
	物件費計	5,042	3,308	4,619	6,396	73%
	歳出計	16,244	15,928	7,326		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	16,244	3,308	4,619	6,396	

5. 総括的分析

総括的分析 地域清掃の団体登録数やアダプトプログラムの登録団体数及び活動回数が増加したのは、企業による社会貢献活動の増加のほか、市民や事業者がwithコロナ社会に対応し、感染症予防対策を講じた上での清掃活動を再開したことが理由と考える。回収ごみ量の増加については、前年度、コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛していたことが原因である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後とも地域清掃等の清掃活動を推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	プラゴミ削減・ポイ捨て防止推進事業										
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部			課	環境政策課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4			
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち									
	実行計画名	28-1.美しい景観形成の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	海岸漂着物処理推進法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体的に取り組めていない市民がいる(市民全員にとっては、マイクロプラスチックによる海洋汚染などが課題)									
	ターゲットが抱える課題										

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態) 市民一人ひとりが、海の豊かさを守るという意識を持ち、ポイ捨てゼロや使い捨てプラスチックの使用削減に向けて主体的に行動する。

事業概要 市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力して、「ポイ捨てをしない、させない環境づくり」や、「使い捨てプラスチックの使用削減に向けた取り組み」を行うことで、世界的に深刻化している海洋プラスチック問題の解決・改善につなげていく。
また、さらにこうした取り組みを通して、市民のSDGsに対する認知度を高めるとともに、本事業がSDGsの17のゴールの1つである「海の豊かさを守ろう」の達成に向けたものであることを意識した主体的な行動を喚起することを目指していく。

①プラスチックごみのポイ捨て防止啓発
・クリーンリバー、アダプト団体との連携による清掃活動と啓発活動
②使い捨てプラスチックの削減
・NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議や市内事業者と連携した使い捨てプラスチック削減に向けた普及啓発の推進
③市役所での率先行動
・市役所から排出する使い捨てプラスチックごみ削減に向けた取り組み(審議会等でのマイボトル・マイバッグ持参の呼びかけ等)
④①②の取り組みを通したSDGsの「14 海の豊かさを守ろう」のゴール達成に向けた取り組みの推進
・クリーンリバー、アダプト団体との連携によるSDGsの周知・啓発
・公共施設等へのポスター掲示やイベント等でのSDGsの周知・啓発

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				アウトプット(活動結果)	使い捨てプラスチックごみの削減について考える機会となり、アイデアの周知により、取り組みの啓発となる。				インプット(活動)	NPO団体との連携による「プラごみ削減アイデアコンテスト」の実施。			
	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				アウトプット(活動結果)	コンテスト参加者数(累計)				インプット(活動)	コンテストの周知活動回数			
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	1,000	1,300	1,000	800	200	250	300	400	5	5	5	5		
	実績	160	230			67	0			0	0				
	達成度	182%				0%				0%					
分析	天野川と穂谷川の清掃活動が、新型コロナウイルスの影響により中止となったため。				令和3年度は実施なし				令和3年度は実施なし						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				アウトプット(活動結果)	市内商店へ掲示の協力を呼び掛けることにより、更なる掲示の推進、及び啓発が進む。				インプット(活動)	使い捨てプラスチックの削減に向けたポスターを掲示する。			
	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				アウトプット(活動結果)	市内のポスター掲示協力店舗及び事業所数(累計)				インプット(活動)	ポスターの掲示枚数			
指標設定②	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	1,000	1,300	1,000	800	40	50	60	70	125	150	175	200		
	実績	160	230			7	18			69	70				
	達成度	182%				36%				47%					
分析	天野川と穂谷川の清掃活動が、新型コロナウイルスの影響により中止となったため。				順調に店舗数は増加しているが、より一層の協力依頼が必要				今後も協力いただける市内店舗の発掘が必要						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				クリーンリバー等への参加により、市民意識の向上が図られる。				地域や市民団体等との連携によるクリーンリバー等を通じた啓発活動の実施。			
指標設定③	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				クリーンリバー等の参加者数				啓発活動実施回数			
		単位		袋	単位		人	単位		件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)	1,000	1,300	1,000	800	450	800	800	800	5	3	3	3
	実績	160	230			0	89			0	1		
達成度	182%				11%				33%				
分析	天野川と穂谷川の清掃活動が、新型コロナウイルスの影響により中止となったため。				新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となったため				新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となったため				
ロジックモデル④		市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				プラごみダイエツト行動宣言の参加者が増える。				プラごみダイエツト行動宣言への参加を呼びかける。			
指標設定④	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				プラごみダイエツト行動宣言の参加者の延べ人数(累計)				プラごみダイエツト行動宣言参加を呼びかける周知活動の回数			
		単位		袋	単位		人	単位		件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)	1,000	1,300	1,000	800	1,000	3,760	6,880	10,000	5	5	5	5
	実績	160	230			640	3,037			5	5		
達成度	182%				81%				100%				
分析	天野川と穂谷川の清掃活動が、新型コロナウイルスの影響により中止となったため。				各企業からも多数参加いただき、参加者の増加につながった。				SNSを活用し、幅広い世代への周知・啓発に努めた。(LINE:2回、Twitter:1回、Facebook:1回)				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.38
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	5,662	2,986		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	5,662	2,986		
	物件費計	—	50	3	15	20%
	歳出計	—	5,712	2,989		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	50	3	15	

5. 総括的分析

総括的分析	当初、予定していた市のイベントでの周知が新型コロナの影響でイベント等が中止となったが、企業団地が主催したクリーンリバーでの周知による企業の協力やSNSの効果もあり目標値に近い参加登録となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後ともプラごみダイエット行動宣言への参加・周知を推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境政策課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		課職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境政策課及び環境部内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する										
事業概要	部内及び課内の庶務、議会・組合等に対する調整及び交渉等、文書管理、物品管理、予算編成・決算管理等並びに給与・休暇等の事務処理及び行政財産の管理を行う。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明	単位				単位				単位			
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)											
	実績												
達成度													
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	3.86
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	30,328		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	30,328		
	物件費計	-	-	1,417	3,137	45%
	歳出計	-	-	31,745		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	1	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	1	
	一般財源	-	-	1,417	3,136	

5. 総括的分析

総括的分析 環境政策室に係る庶務事務を適正かつ円滑に運営を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き円滑な運営を図っていく。